LIFETIME®

組立説明書とマニュアル

COPY

WWW.LIFETIME.COM

株式会社グローバル
〒101-0047
東京都千代田区内神田2－9－9
第一会田ビル
TEL 03-5297-7601 FAX 03-5297-7602

SPEEDSHIFT®
BASKETBALL SYSTEM
モデル#1491

COPY

警告

**このモデルの組み立てを始める前に
説明書に記載されているすべての
注意事項を十分お読みください。
部品リストを参照しながら、部品が
すべて揃っているか確認ねがいます。
取扱説明書の中にある"警告"および
説明に従って組み立てを行わないと、
切り傷、骨折、神経や脳の損傷、又は
死亡事故等の人的災害や対物事故
が発生するかもしれません。
"警告"や注意事項に十分注意して
組み立てを行って頂くよう
お願い致します。**

説明書 #1037061 B **6/19/2008**

ポールセクションの確認

組み立てる前に必ずポールの種類を確認して下さい。ポールの種類を間違えて組み立てると、ページ2に挙げているような怪我をしたり、器物に破損を与えることになります。

一度ポールを接合してしまうとそれらを離す事は出来ません。

トップポール
ポール上部に4個の穴　ポール下部に1個の小さな穴
1番短いポール

TP

ミドルポール
ポール上部に1個の細長い穴　ポール中間に4個の穴　ポール下部に1個の小さな穴

MP

ボトムポール
ポール上部に1個の細長い穴　ポール中間付近に2個の穴　ポール下部に2個の穴

BP

このモデルの組み立てを始める前に説明書に記載されているすべての注意事項を十分にお読み下さい。部品リストを参照しながら、部品がすべて揃っているか確認願います。適切なる完全な組み立てやその使用と管理は欠く事の出来ない重要な作業です。これらの基本条件に従順する事により、事故や怪我などの危険を減少させ免れる事となります。重大な事故や怪我に危険性はシステムの取り付けや整備、作業が適切に行われていない場合に起こります。

- 組み立て中に梯子を使用する場合には充分に注意を払って下さい。
- これらの作業には大人2人で行う事をお薦めします。
- ベースからの漏れを常時点検して下さい。漏れはシステムの転倒の原因となります。
- ポールは正しく組み立てて下さい。ポールの組み立てが適切でない場合には遊技中や移動の時にポールが離れてしまう事になります。
- 1番低い高さ調節はリムまでの高さが7'6"(2.28m)です。

殆どの事故や怪我の発生はシステムの誤使用や説明書に従わない事にあります。システムを使用する場合には充分注意して下さい。

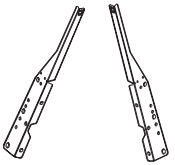
部品リスト

ID	部品 #	記述	数量	✓
TP	1018846	トップポール	1	☐
MP	1018845	ミドルポール	1	☐
BP	1018847	ボトムポール	1	☐
RB	1018718	バックボードブラケット（右）	1	☐
LB	1018717	バックボードブラケット（左）	1	☐
A	ZL03699	バックボード	1	☐
C	DD00200	ネット	1	☐
D	502056	黒色プラスティックガード	1	☐
E	504068	カウンターバランススプリング	1	☐
F	B110001	1.3 cm x 40cm車軸	1	☐
G	BD00200	1.3 cm x 18cm車軸	1	☐
H	CB01799H	ベース	1	☐
J	510022	ホイール	2	☐
K	CF00199	ベースキャップ	2	☐
L	FS16400	警告ステッカー（貼付済）	1	☐
M	FS05200	高さ表示ステッカー	1	☐
N	825608	リング	1	☐
O	1018844	短い伸張アーム	2	☐
P	1018843	長い伸張アーム	2	☐
Q	1018850	ポール支柱	2	☐
R	AR00100	スピードシフト内管	1	☐
S	1036750	スピードシフト外管	1	☐
U	AM01500	鉄製リングサポート	1	☐
V	1018716	ポールブラケット	1	☐
W	CH01799	スピードシフト引き金	1	☐
X	CH00988	スピードシフトハンドル（左）	1	☐
Y	CH01088	スピードシフトハンドル（右）	1	☐

組み立てには道具と材料が必要です。
（ここには含まれていない）

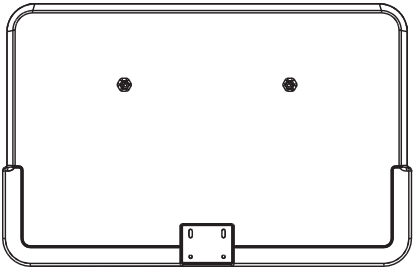
1. モンキーレンチ
2. 11mm径レンチ（2）
3. 13mm径レンチ（2）
4. 14mm径レンチ（2）
5. 19mm径レンチ（2）
6. 金槌あるいは木槌
7. 砂あるいは水
8. 木片
9. スクリュードライバー
10. 巻尺

RB



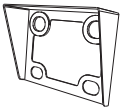
LB

A



C

D

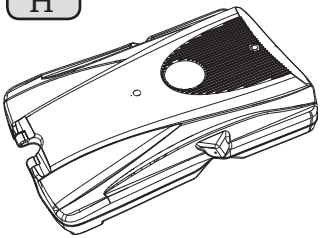


E

F

G

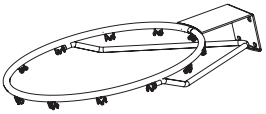
H



J

K

N



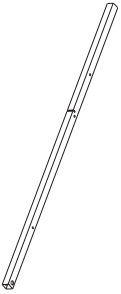
O

P

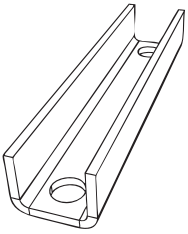
Q

R

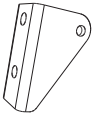
S



U

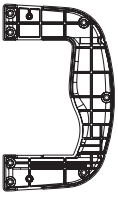


V



W

X



Y

部品リスト

主要金具 (1034848)

HA	300022	0.6cmセンターロックナット	2	☐
HB	302007	0.9 x 16.5cm六角ボルト	1	☐
HC	300110	0.6 x 7cm六角ボルト	2	☐
HD	301008	1.3cmセンターロックナット	4	☐
HE	BB01000	1.3 x 16.8cm六角ボルト	4	☐
HF	302008	0.9cmセンターロックナット	1	☐
HG	300066	0.8cm六角Tナット	2	☐
HH	500038	1.3 x 1.0cm透明ポリスペーサー	4	☐
HI	500013	1.4 x 1.5cmポリスペーサー	4	☐
HL	800324	1.3 x 5.8cmメタルスペーサー	2	☐
HM	302010	0.8 x 1.9cm 六角ボルト	2	☐

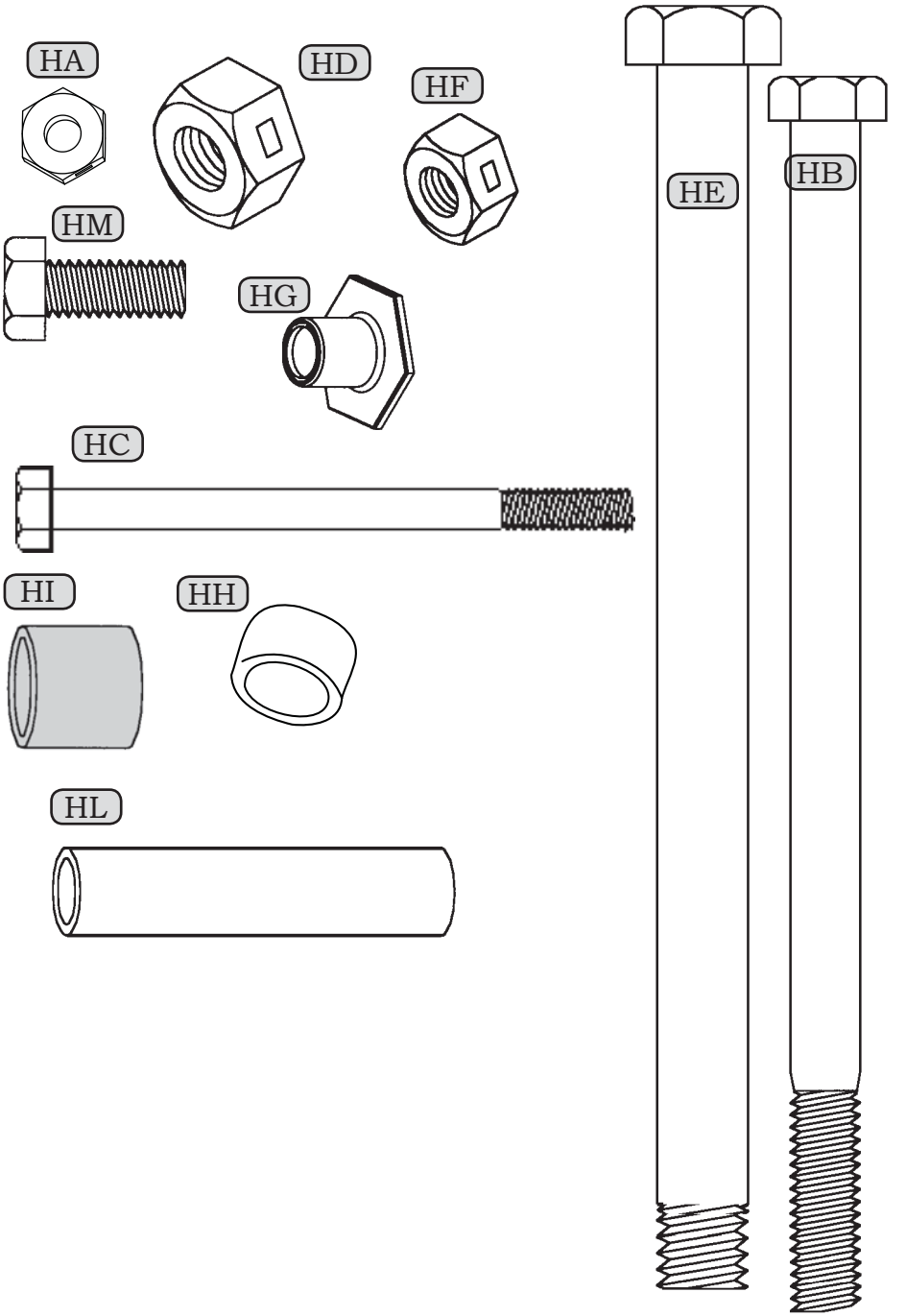
組み立てを始める前には
注意

A. 部品リストと照らし合わせ全ての部品が揃っているか確認して下さい。金具はそれぞれの金具袋に入れ、各金具袋は他の袋と混合しないように保管して下さい。部品や金具が不足している場合には、当社顧客サービス課にご連絡下さい。

B. すべてのボルトをそれぞれの穴に差し込んで適切に合うかどうか点検して下さい。必要であれば穴の内側にある余剰のパウダーコーティングを注意してこすり落とします。錆を防止する為に深くこする様な行為は避けて下さい。

金具は実物サイズ

（実物サイズでないものは指示されている）

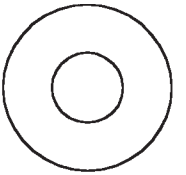


部品リスト

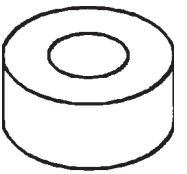
ID	部品 #	記述	数量	✓
リム取付金具 (1012738)				
HG	300066	0.8cm六角Tナット	2	☐
RK	300128	0.8cmジャムナット	2	☐
RC	302014	0.8cmフラットワッシャー	2	☐
RD	302056	ゴムワッシャー	2	☐
RE	302065	0.8cm x 5.7cmタップボルト	2	☐
RF	1009200	U字ボルト	1	☐
RG	302090	0.8cmナイロックフランジナット	4	☐
RJ	1001137	圧縮スプリング	2	☐
RI	804033	スプリング固定プレート	1	☐
ポール連結金具 (HH03200)				
PA	BS02000	0.6 x 1.9cmネジ	2	☐
ベース取付金具 (1035352)				
BA	1003221	0.6cm六角Tナット	1	☐
BB	300030	0.8 x 2.5cm六角ボルト	2	☐
BD	300097	0.8cmナイロックナット	2	☐
BE	1003225	0.6 x .8cm六角ボルト	1	☐
BG	500032	1.3 x 0.3cmスペーサー	2	☐
RC	302014	0.8cmフラットワッシャー	4	☐
Speedshift® 金具 (HH03300D)				
GA	AM01000	スピードシフトロックタブ	1	☐
HE	BB01000	1.3 x 16.8cm六角ボルト	1	☐
GB	BS02400	#6 x 1.5cmネジ	7	☐
GC	BG00300	引き金スプリング	1	☐
GD	300087	0.8cm x 3.8cmタップボルト	1	☐
GE	300031	1.0cmワッシャー	2	☐
GF	300083	0.6cm x 3.2cm六角ボルト	1	☐
GG	300095	0.8cmキャップナット	1	☐
GH	300103	#6 x 1.0cmフィリップネジ	2	☐
GI	300127	0.6cmキャップナット	1	☐
HD	301008	1.3cmセンターロックナット	1	☐
HF	302008	1.0cmセンターロックナット	2	☐
GJ	302064	1.0 x 8.9cm六角ボルト	2	☐
GK	BA01500	1.3 x 3.5cmポリスペーサー	2	☐
GL	BA01800	1.3cm x 7.5cmスペーサー	2	☐

RK

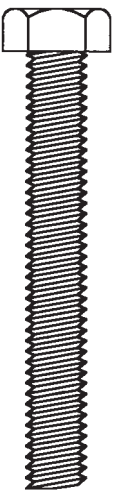
RC



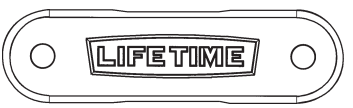
RD



RE

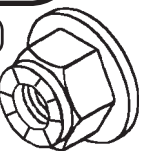


RI

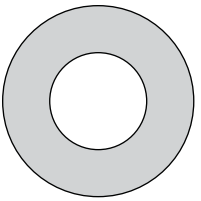


(実物サイズではない)

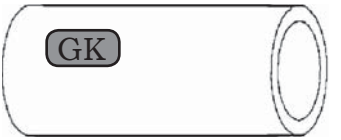
RG



BG



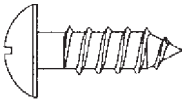
GK



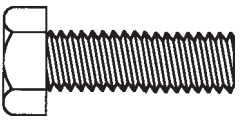
金具は実物サイズ

（実物サイズでないものは指示されている）

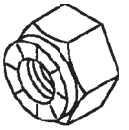
PA



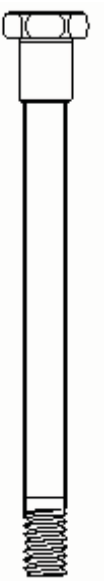
BB



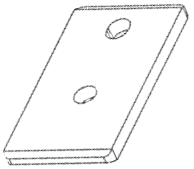
BD



BE

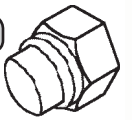


GA



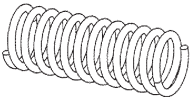
(実物サイズではない)

GI



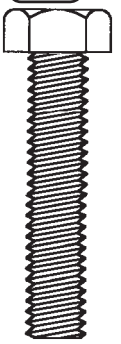
GB

GC

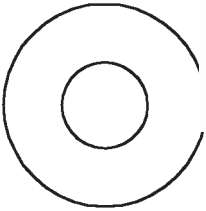


(実物サイズではない)

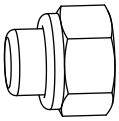
GD



GE

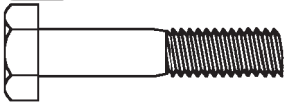


GG

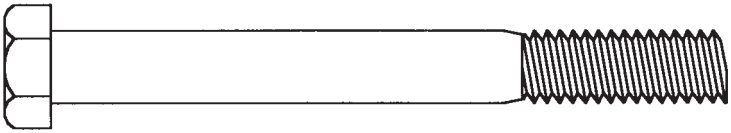


GH

GF



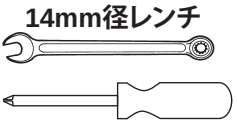
GJ



GL

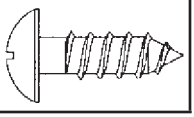
1 ポールの組み立て

14mm径レンチ

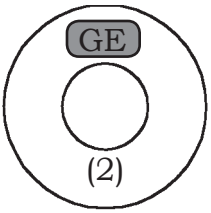


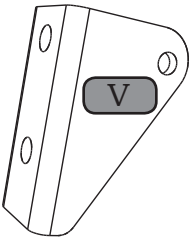
金具 # HH03200

PA (1)

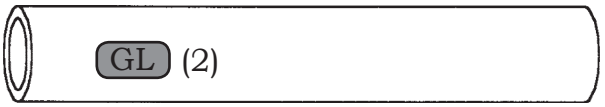


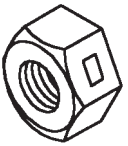
金具 # HH03300D



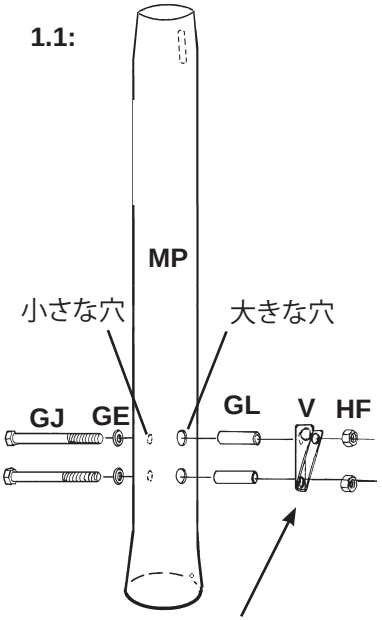


(実物サイズではない)





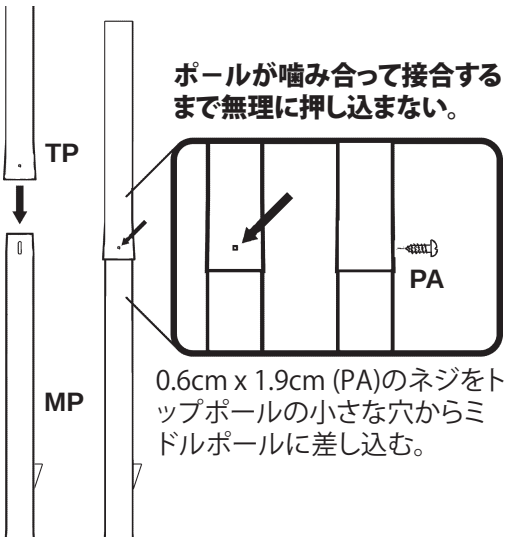
1.1:



ブラケット (V)は示してある方向に向く様に取り付ける

全ての金具をしっかりと締める。

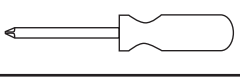
1.2: トップポール(TP)の穴とミドルポール(MP)の溝を直線に並ばせて上部ポールを中部ポールにかぶせるように滑らせる。



ポールが噛み合って接合するまで無理に押し込まない。

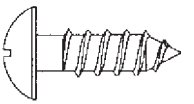
0.6cm x 1.9cm (PA)のネジをトップポールの小さな穴からミドルポールに差し込む。

一度取り付けるとスクリュウは自由に回転する。

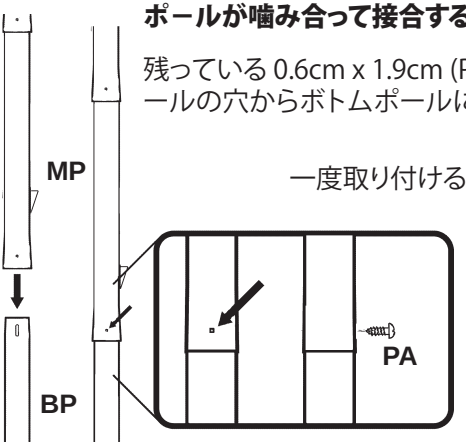


金具#HH03200

PA
(1)



1.3: ミドルポール(MP)の穴とボトムポール(BP)の溝を直線に並べてミドルポールをボトムポールにかぶせるように滑らせる。



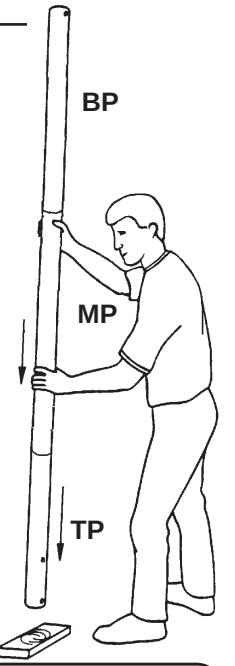
ポールが噛み合って接合するまで無理に押し込まない。

残っている 0.6cm x 1.9cm (PA)のスクリュウをミドルポールの穴からボトムポールに差し込む。

一度取り付けるとスクリュウは自由に回転する。

このステップは逆順できません。

1.4: ポールの両端を5〜6回ほど木片に打ち付けます。



ポール接合後、トップポールはミドルポールの溝、ミドルポールはボトムポールの溝を覆う事が出来なければこの組み立て作業を終えてはいけない。

当社までご連絡下さい。

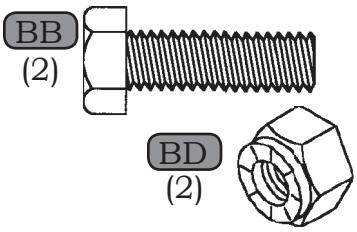
怪我をしますのでポールで足を打ち付けないように気をつけて下さい。

警告

ポールはしっかりと接合され叩かなければなりません!! 叩く前にたとえ溝が噛み合っていたとしても必ずポールはしっかりと5回〜6回程木片あるいはボール紙の上で叩いて下さい!!　間違ってポール接合を実行したり叩く事を怠たるとポールの接合が適切に行われなく遊技の途中でポールが分離するなどページ2で挙げた重大な事故や怪我を引き起こす原因となります。

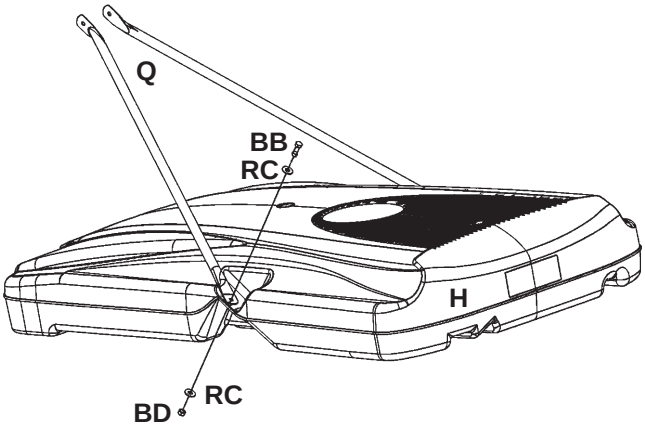
2 ポールとベースの組み立て

金具#1035352

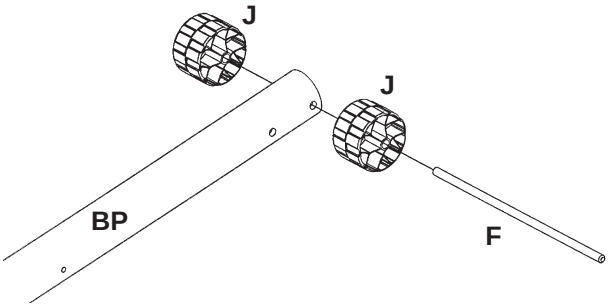


2.1: ポール支柱(Q)のまっすぐな端をベースに取り付けます。曲がっている端をポールに取り付けます。

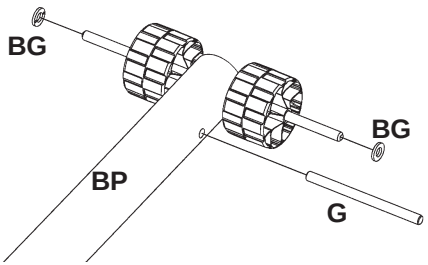
この時は手でナットを締めてください。



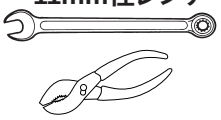
2.2:



2.3:



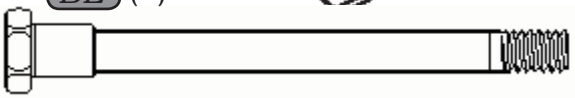
11mm径レンチ



金具#1035352

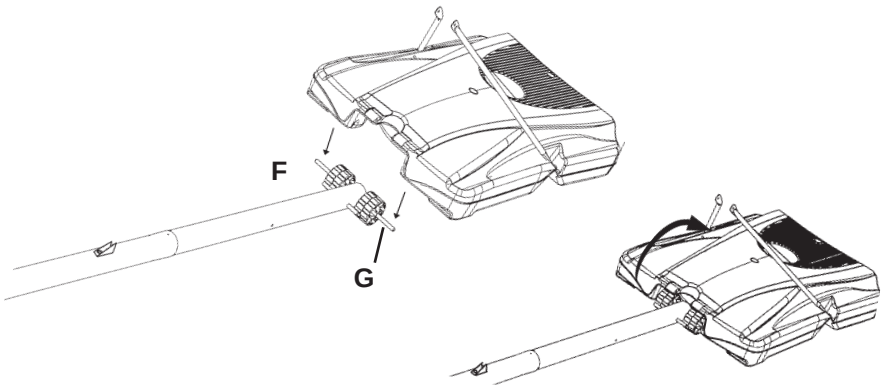
BA (1)

BE (1)

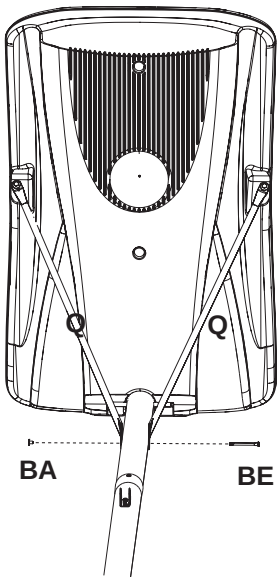


2.4: トップポールの折れ曲がりのある側を地面に向けポールをおく。図のようにベースを上からかぶせるようにおく。

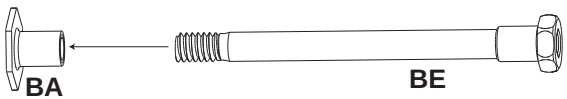
40cm車軸(AC)をベース位置にあわせベースを踏むと車軸がベースの下部にあるスロットの中に"カチッ"と締まります。ポールを回転させて上げると17.78cm車軸(AK)がベースの上部にあるスロットの中に"カチッ"と締まります。



2.5:



先にTナット(BA)をポール支柱とポールの穴にはめ込みます。そしてボルト(BE)を反対方向から差込み固定します。



この方向で取り付けて下さい

ベースとポール支柱の全ての金具をここで完全に締める。

⚠ 警告

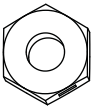
倒れるのを防ぐ為、重さを加えていない時にシステムを立てないで下さい。重しが無いとシステムは倒れ、重大な事故や死亡事故が発生するかもしれません。

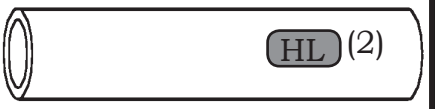
3 バックボードとリングの組み立て

11mm径レンチ

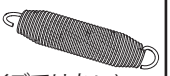
金具# 1034848

HA (2)





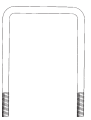
E



(実物サイズではない)

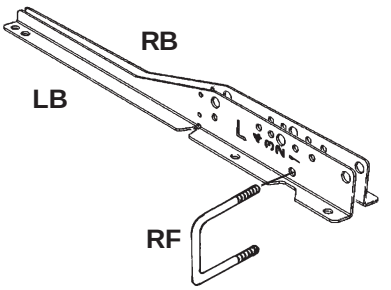
金具# 1012738

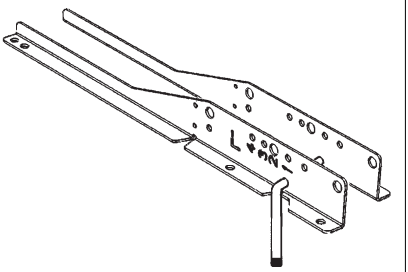
RF (1)



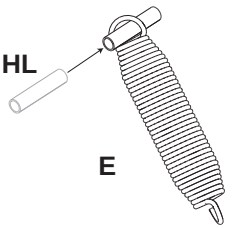
(実物サイズではない)

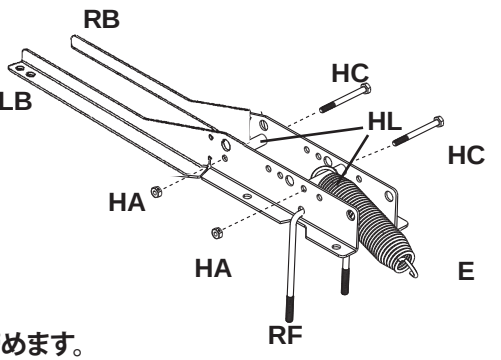
3.1: バックボードブラケット(LB & RB)を一緒に持ちます。





3.2:

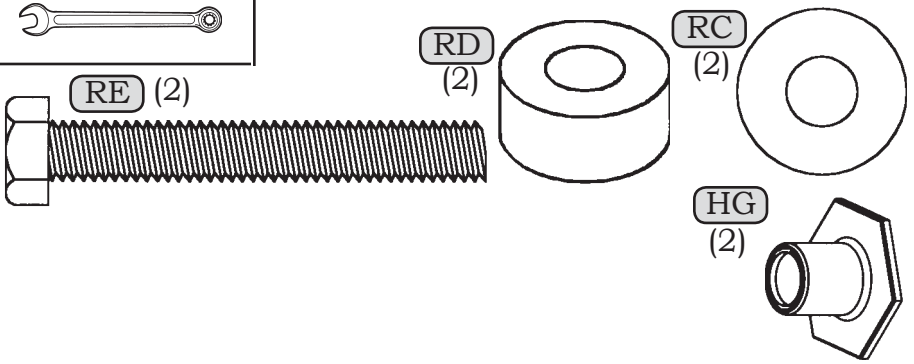




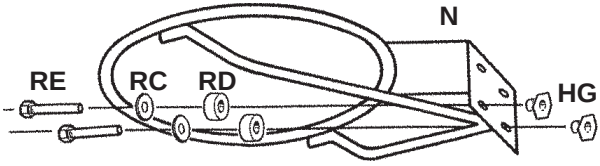
ナット(HA)を完全に締めます。

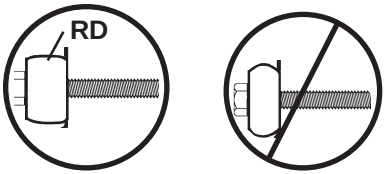
12mm径レンチ

金具#1012738



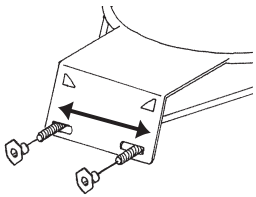
3.3:





ゴムワッシャー（RD)が膨らみ始めるまでTナット（HG)を締めて下さい。

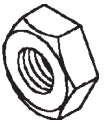
タップボルト（RE)は穴の外側の端にして下さい。



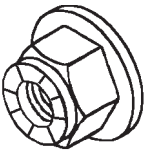
13mm径レンチ

金具#1012738

RK
(2)



RG
(4)

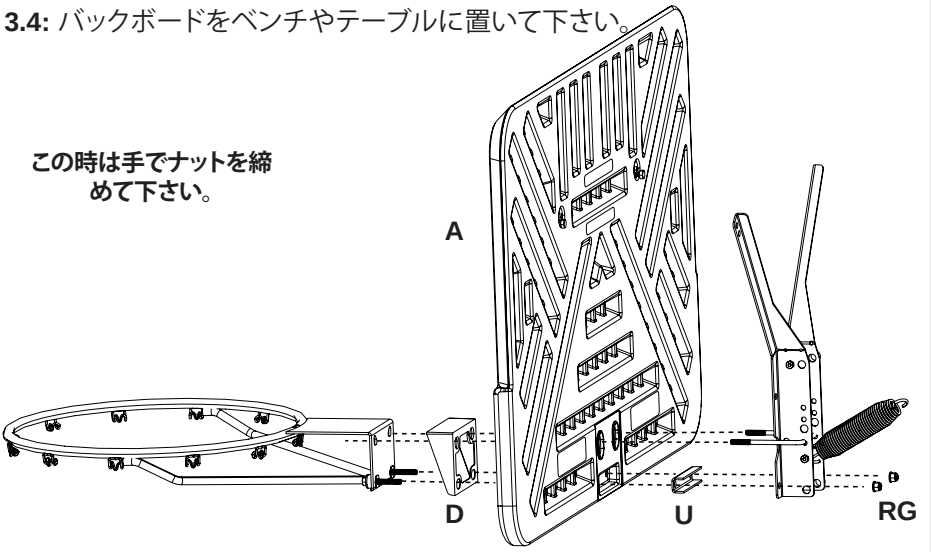


RI
(1)

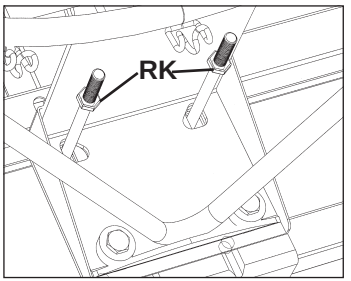
(実物サイズではない)

3.4: バックボードをベンチやテーブルに置いて下さい。

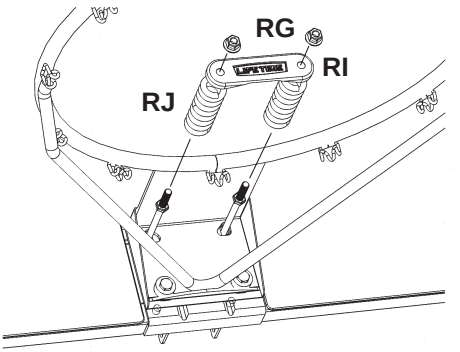
この時は手でナットを締めて下さい。



3.5: ジャムナット（RK)をU字ボルトに締めれるだけ締めて下さい。



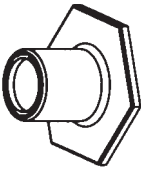
3.6: これらのナットを締めてリングの張りを調整します。



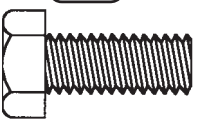
13mm径レンチ

金具#1034848

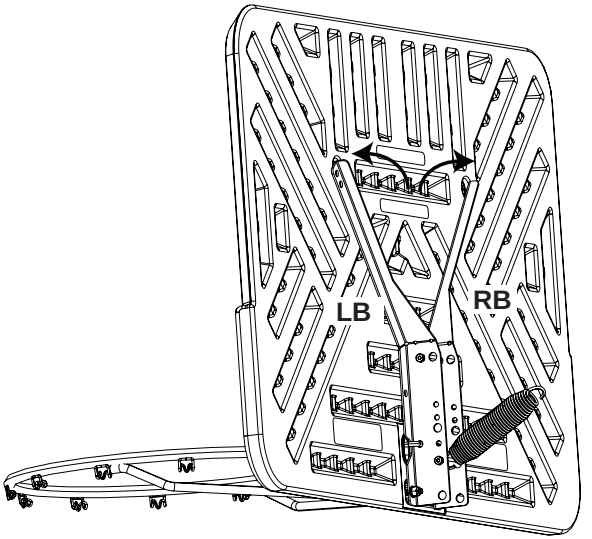
HG (2)



HM (2)

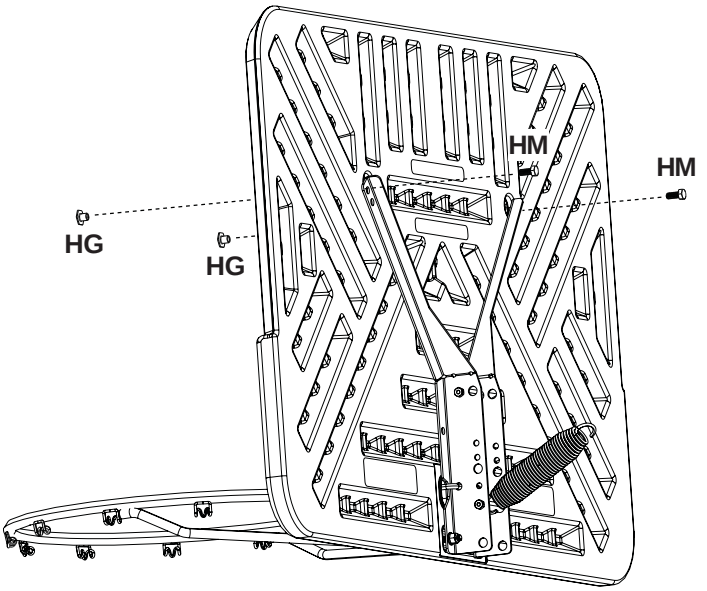


3.7: バックボードブラケット（LB & RB)を手で左右に広げます。



3.8:

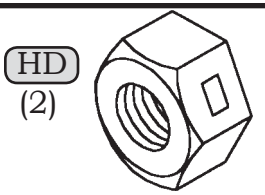
リング金具を全てしっかり締めます。

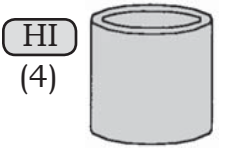


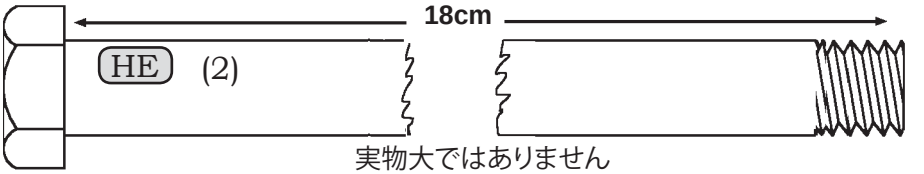
4 バックボードをポールへの取り付け

19mm径レンチ

金具# 1034848

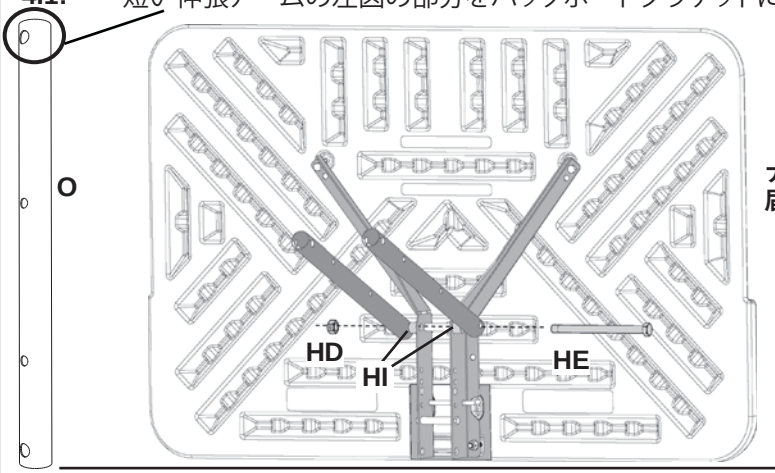






実物大ではありません

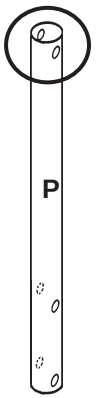
4.1: 短い伸張アームの左図の部分をバックボードブラケットに取り付ける。



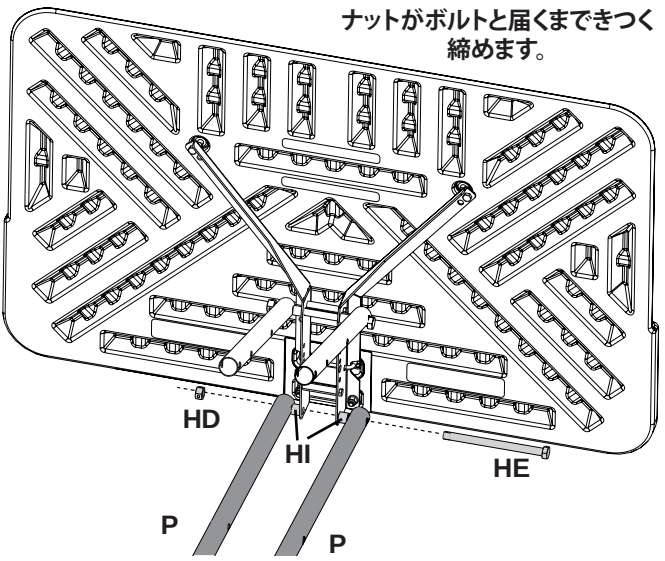
ナットがボルトと届くまできつく締めます。

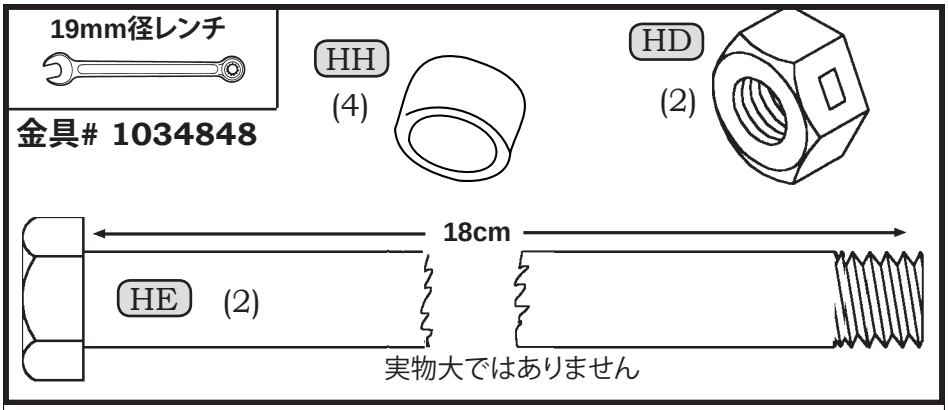
4.2:

長い伸張アームの図の部分をバックボードブラケットに取り付けます。



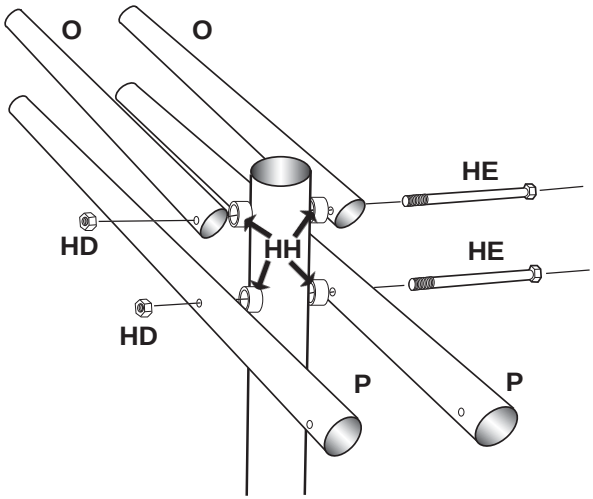
ナットがボルトと届くまできつく締めます。





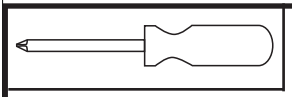
4.3: **このステップの組み立ては大人2人で行って下さい。**

バックボードとリングにキズをつけない様保護する為、厚紙あるいはボール紙の上に寝かせて下さい。



ナットがボルトと届くまできつく締めます。

5 ハンドルの組み立て



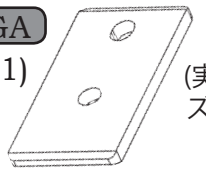
金具#HH03300D

GH (2)

GC (1)

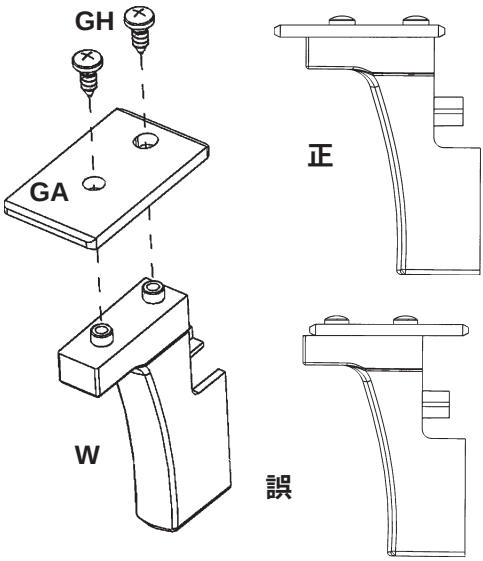
(実物サイズではない)

GA (1)

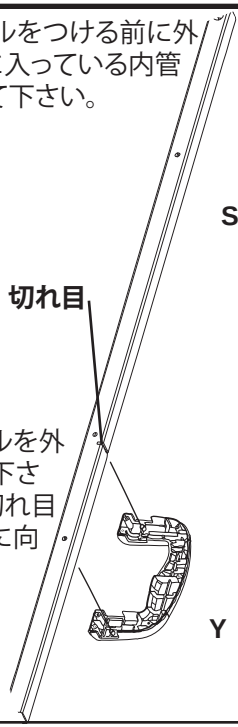


(実物サイズではない)

5.1: ロックタブ(GA)は正しい方の図の様に取り付けて下さい。ロックタブを誤った方の図の様に取り付けると引き金は動きません。

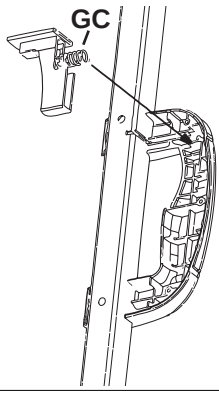


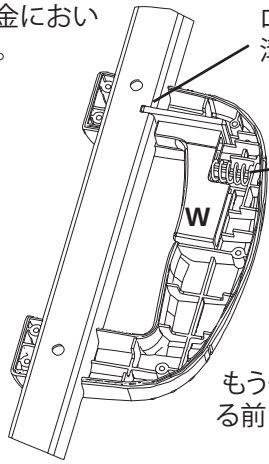
5.2: ハンドルをつける前に外管(S)の中に入っている内管を取り出して下さい。



右のハンドルを外管に付けて下さい。外管の切れ目がハンドルに向きます。

5.3: 引き金スプリングを引き金において引き金をハンドルに付ける。



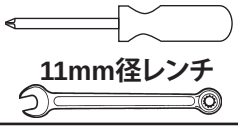


ロックタブを外管の溝に入れる。

GC

スプリングは引き金に挿し込まれてバネがきく様に入れて下さい。

もう一方のハンドルを装着する前に引き金を引いて正確に動くか確かめて下さい。

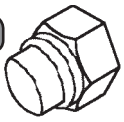


11mm径レンチ

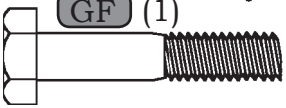
金具# HH03300D

GB (7)

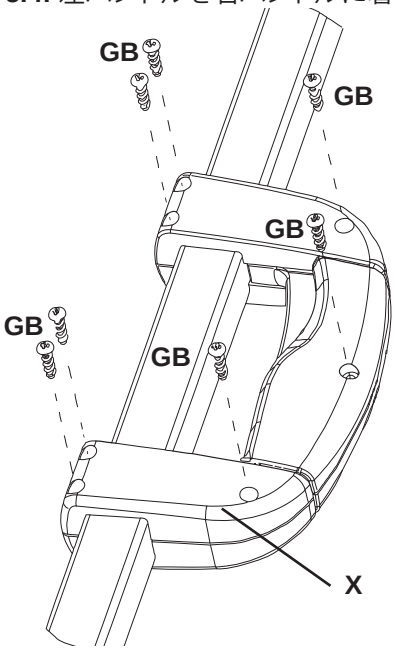
GI (1)



GF (1)

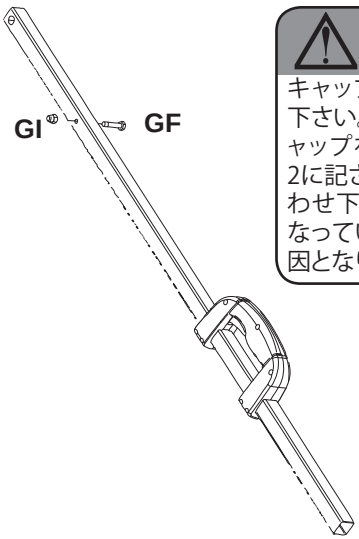


5.4: 左ハンドルを右ハンドルに着けます。



ネジをハンドルがしっかりするまで締めて下さい。しかし、穴がすり減るまでネジを締め過ぎないで下さい。

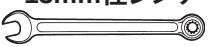
5.5:



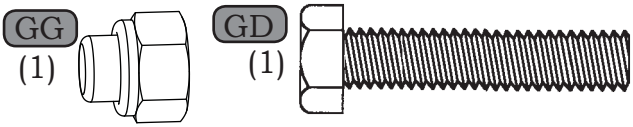
警告

キャップナットを締めすぎないようにして下さい。仮にボルトの端でプラスティックキャップを割ってしまった場合には、ページ2に記された当社サービス係までお問い合わせ下さい。ボルトのねじ山がむき出しになっているとページ2に記された怪我の原因となります。

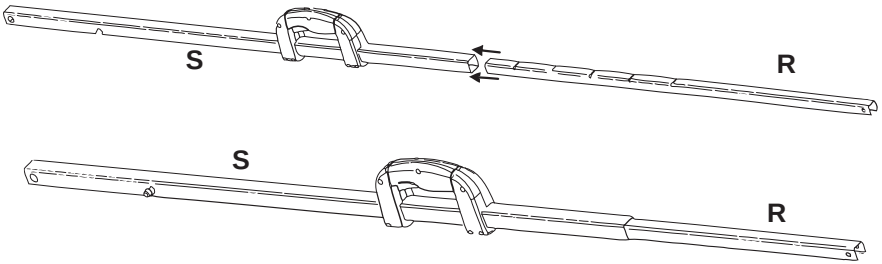
13mm径レンチ



金具# HH03300D

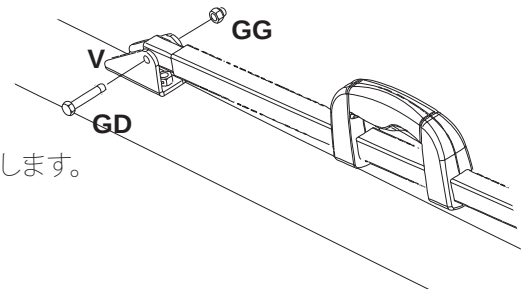


5.6: 引き金を押さえながら、内管(N)の刻み目部分の下から外管(S)に入れます。刻み目がハンドルの方に向かせて下さい。



内管(R)を引き金が最初の刻み目にはまるまで入れて下さい。その後、引き金を離します。

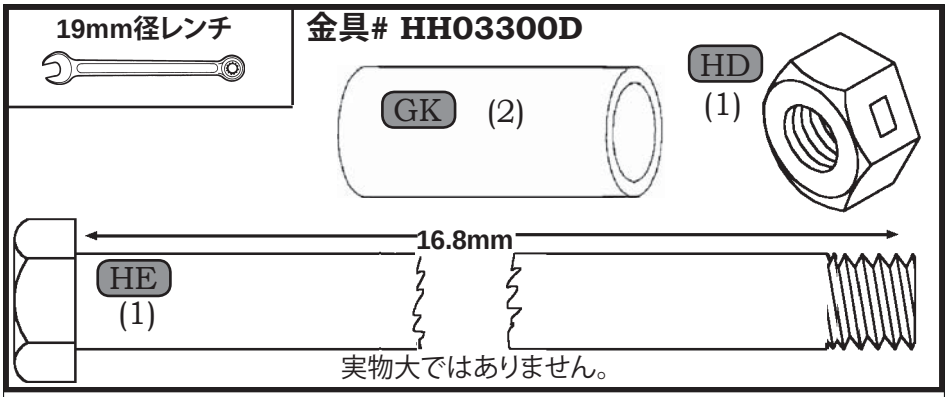
5.7: ステップ1で取り付けたポールブラケット(P)に内管を取り付けしっかり締めて下さい。



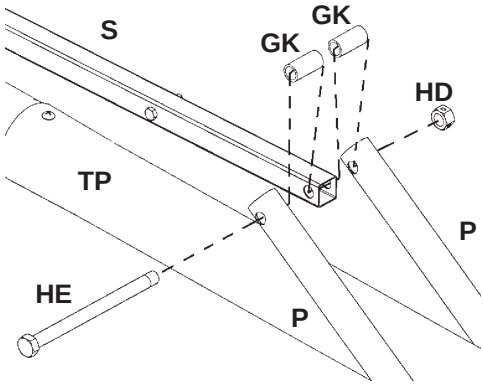
ここで全てのナットを締めて固定します。

警告

キャップナットを締めすぎないようにして下さい。仮にボルトの端でプラスティックキャップを割ってしまった場合には、ページ2に記された当社サービス係までお問い合わせ下さい。ボルトのねじ山がむき出しになっているとページ2に記された怪我の原因となります。



5.8: 外管を長い伸張アームに着けます。



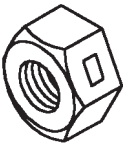
ここで全てのナットを締めて固定します。

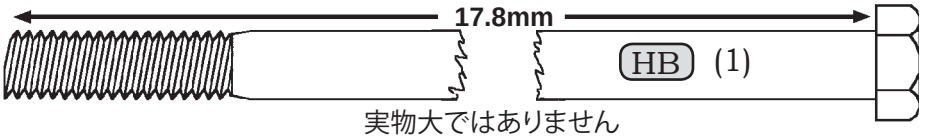
6 最終組み立て

14mm径レンチ

金具#1034848

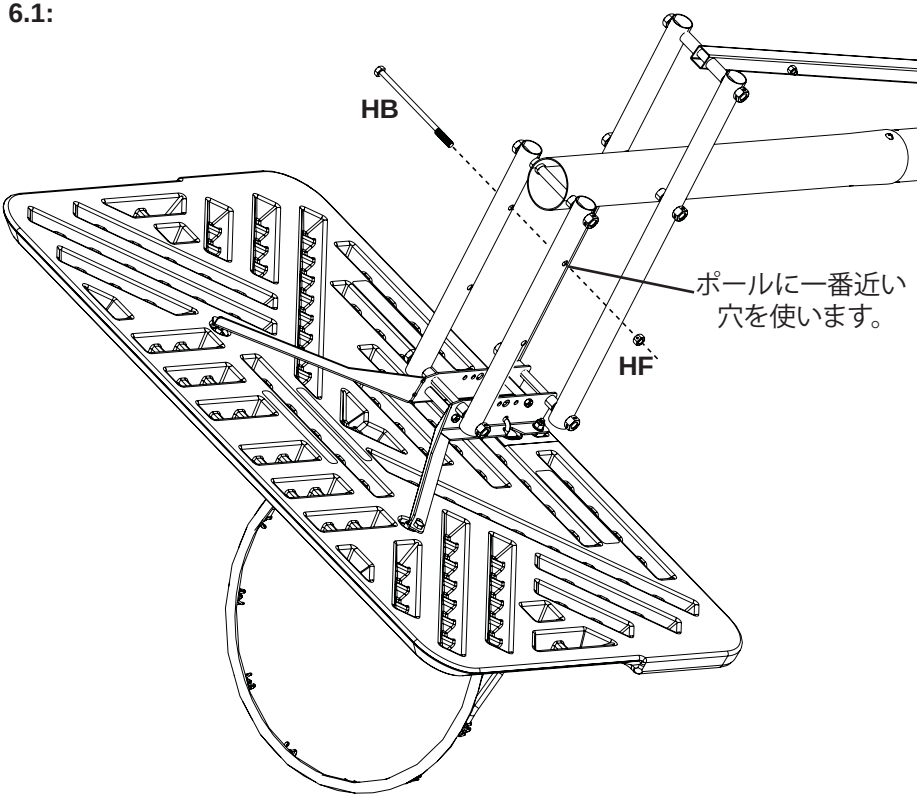
HF
(1)





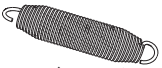
実物大ではありません

6.1:



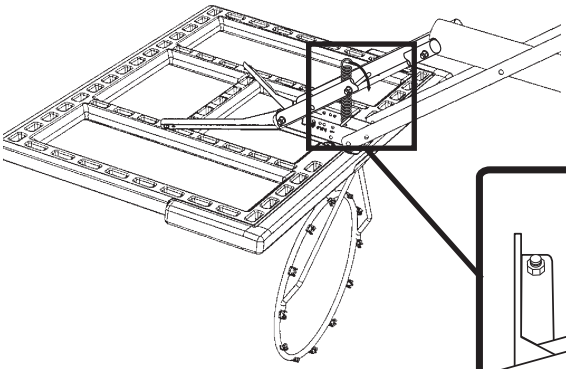
全ての金具をしっかりと締
める。

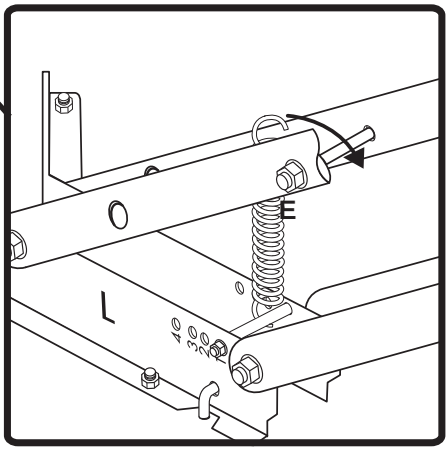
E

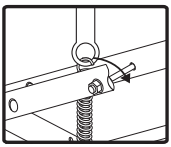


(実物サイズではない)

6.2: スプリングをバックボードブラケットの間のスペーサーに引っ掛けます。もう一方も前のステップのボルトに引っ掛けます。

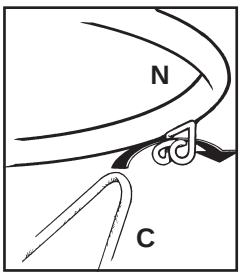




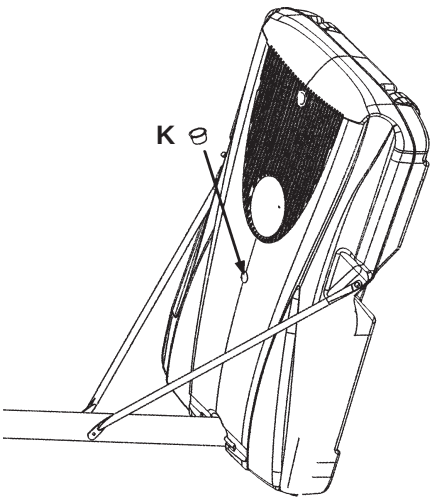


レンチを使いスプリングを引き上げてボルトに掛けます。

6.3: ネット(C)を取り付ける。



6.4:



警告

ベースに適切な重量を供給しないままシステムを立てる事は決してしないで下さい。システムが転倒する事により器具への破損や重大な人身事故につながる事となります。

ベースに水などを供給している場合、もう一人の大人は常時ポールを持っておいて下さい。

6.4: ベースに砂を入れる

漏斗を使ってベースの上部の穴から砂を入れて上部の穴のすぐ下まで入れる。大人2人で注意してシステムを立てる。

少なくても2人の大人で注意してシステムを立てる。

図1

残りのベースキャップをはめる。

図2

6.4: ベースに水を入れる

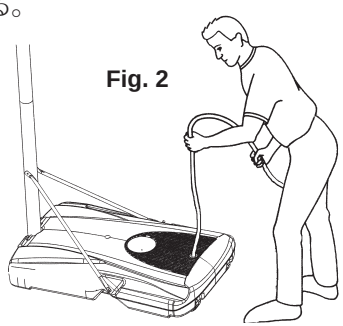
ベースの上部の穴から水を入れて上部の穴のすぐ下まで入れる。大人2人で注意してシステムを立てる。

少なくても2人の大人で注意してシステムを立てる。

Fig. 1

残りのベースキャップをはめる。

Fig. 2

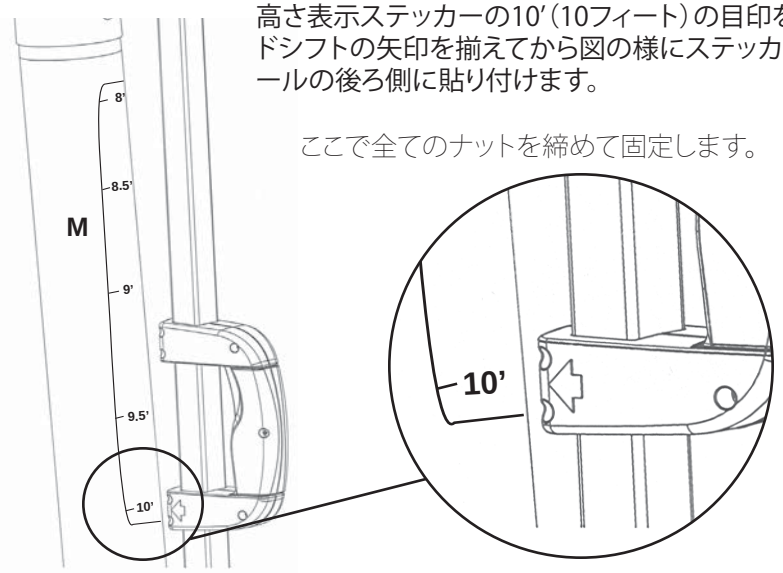


水漏れがあっても知らないうち水が無くなっている事により、ユニットが転倒して事故や怪我あるいは器材の破損となり得る。水漏れがないか頻繁にベースを点検する。

6.4: ハンドルを1番下まで落として下さい。システムは一番高い所にセットされます。

高さ表示ステッカーの10’（10フィート）の目印をスピードシフトの矢印を揃えてから図の様にステッカーをポールの後ろ側に貼り付けます。

ここで全てのナットを締めて固定します。



ベースに水を入れた場合には下記に挙げている項目に十分注意して下さい。

1. ベースを石や砂利、あるいはその他の鋭い物などの上に置くと穴が空いて水漏れの原因となりますので、十分に注意して下さい。
2. ベースにひび割れや穴が空いていないかなどの損傷がないか頻繁に確認して下さい。
3. 遊技をする前にには必ず水の量を点検して下さい。
4. ベースの重み無しでシステムを保存する場合にはユニットを前方に倒してリムが地面につくようにして下さい。
5. ベースの水の入れ替えをする場合は大さじ1杯の塩素ブリーチを加えてベース中に藻が生える事を防いで下さい。

バスケットシステムを移動中に調整装置が動かない様に注意して下さい。

システムの移動

警告 : システムを移動する場合、システムの重量を扱える人で移動させて下さい。

A. バスケットシステムを一番低い位置に調節する。
B. システムの前面からポールを前に引き、ユニットのバランスが車輪の上に安　。定するようにしてください
C. システムを目的の位置に移動させてからゆっくり注意しながらベースを下において下さい。

リング高さ調節装置に操作方法

リングの高さの調整は8~10フィート（約2.44~3.05M）まで5段階（約15CM毎）まで調整可能です。ハンドルをしっかり掴み引き金をぎゅっと引きます。好みの高さに押し上げたりした後、引き金を離してシステム固定します。ハンドルを上げるとバックボードが低くなり、ハンドルを低くすると事でバックボードが持ち上がります。

バスケットシステムを移動中に調整装置が動かない様に注意して下さい。

ポールの手入れとシステムの整備

バスケットボールシステムの寿命はさまざまな条件によって異なります。気候とか塩害、殺虫剤、除草剤、による腐食そして過度の使用や誤用はポールの耐久性を損ない人身事故や器物の損傷などの原因となります。

バスケットボールシステムを頻繁に点検して、金具のゆるみ、磨耗や錆などに注意して下さい。事故防止や安全の為またシステムを長持ちさせる為に下記に挙げる予防措置を行って下さい。

a. 全てのナットやボルトを点検します。もしねじが弛んでいたら堅く締め直します。
b. 全ての部品について磨耗やひび割れが無いか点検します。必要であれば磨耗や損傷している部品は取り替えて下さい。ポールキャップに傷やひび割れが起こるとポール内部や接合面に水が入って錆の原因となります。部品のについては当社に連絡して下さい。
c. ポールに貼られている警告スティカーも点検して下さい。スティカーが破れていたり文字が消えていたりなどして、交換の必要があれば当社に連絡して下さい。
d. 全てのポールを点検して、ポールに錆やひび割れ、塗装剥がれの有無を確認して下さい。もしこのような状況があれば、下記に挙げている処理を行って下さい。

1. 布ヤスリで錆びや剥がれた塗装を完全に取り除きます。
2. 湿った布でその箇所をきれいに拭き取り、完全に乾かします。
3. 錆止め効果のあるエナメル塗料を塗り、乾いたらもう1度塗ります。

ポールの内部まで錆びてしまった場合にはすぐに新しいポールと取り替えて下さい。

警告

説明書の警告を守らない場合には重大な事故や人身事故につながりますので、必ず注意や警告は厳守して下さい。

ユニットの如何なる部品（バックボード、リング、ネットなど）にぶら下がらないで下さい。

- ユニットの如何なる部品（バックボード、リング、ネットなど）にぶら下がらないで下さい。
- 遊技中はバックボード、リングやネットに顔を近づけない様に充分注意して下さい。歯や顔をバックボード、リングやネットに接触すると重大な怪我のもととなります。遊技者はマウスガードを着用して下さい。
- ベースやポールによじ登ったり、滑ったりして遊ばないで下さい。
- 取扱説明書の通りにベースは砂か水を満たして下さい。最初にベースに砂か水を満たさず動かしたり、放置して立てておくとユニットが転倒する可能性があり、上記の様な重大な事故の原因ともなります。
- システムの高さ調節やシステムを動かしている時は動いている部品に手や指を近づけないで下さい。
- 子供はシステムの移動や高さ調節を行わないで下さい。
- 遊戯中は指輪、時計やネックレスなどの装飾品を着けないで下さい。ネットに引っ掛かり重大な事故につながります。
- ポール、ベースに有機材料を近づけないで下さい。除草や残物により腐敗を起こしたり低下の原因となります。
- ユニットを使用する前には必ずベースの安定を確認して下さい。ベースは鋭利な異物や物体のある場所は避けて平坦でなめらかな表面に設置して下さい。ベースの穴あきは漏れやユニットの転倒の原因となりますので注意して下さい。
- ポールや部品を月に1度点検して腐食、錆、ひび割れ、塗装剥がれが無いか確認します。塗装剥がれは屋外用エナメル塗料を施します。錆がポールや部品に見られたらすぐに交換して下さい。
- 毎回ユニットの使用前には緩んでいる金具や部品がないか、また過度の磨耗の有無、腐食の徴候が見られないかを点検し、必要があれば使用前に必ずその処置を施し整備して下さい。
- 破損しているシステムでは決して遊技しないで下さい。
- 風の強い日や悪天候の時はユニットが転倒するおそれがありますので使用しないで下さい。このような場合にはユニットを風から防げる所（倉庫など）に保管するか風をよけられる場所や電線に接触しない場所などユニットを危険から防止できる場所に保管して下さい。
- このユニットでダンクシュートなどの実践は絶対にしないで下さい。このユニットはそのような衝撃的な使用に耐えられるように設計されておりません。

グローバル保証規定

1. 説明書の注意に従った正常な使用状態で損傷した場合は、お買い上げ後一年間に限り損傷個所の部品を無料で交換(送料当社負担)致します。但し、交換作業はお客様ご自身でお願い致します。
2. 保証期間といえども、次の場合の部品交換及び送料等は有料となります。
   イ. 誤用、乱用及び取り扱い不注意による損傷
   ロ. 火災、地震、水害、天候及び盗難などの災害による損傷
   ハ. 改造による損傷
   ニ. 使用中に生じたキズ、サビなどの外観上の変化
3. 保証期間経過後の部品交換及び送料等は有料とさせて頂きます。
   (保証書には、必ずお買い上げの日付をご記入下さい)
4. 本保証は日本国内においてお買い上げいただいた商品についてのみ有効です。

以上が㈱ グローバルの保証範囲です。

グローバル保証書

本保証書は日本国内に於いてお買い上げいただいた商品についてのみ有効です。

商品名	:
保証期間	: お買い上げ日より本体１ヶ年
お買い上げ日	: 年 月 日
お客様	お名前 様 ご住所 電話番号
販売店	住所・氏名

株式会社グローバル
〒101-0047 東京都千代田区内神田2 - 9 - 9
第一会田ビル
TEL03 - 5297 - 7601 Fax03 - 5297 - 7602